

第5回みよし市ゼロカーボンシティ推進協議会 令和7(2025)年2月27日

みよし市経営企画部
企画政策課ゼロカーボン推進室



本日の協議会は、以下のタイムスケジュールで実施します。

項目	詳細	時間
1. パブリックコメントの結果報告	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメント結果と本市の対応 	14:05-14:15 (10分)
2. ゼロカーボンシティ推進計画の策定内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定内容 ※パブリックコメント実施前から更新した箇所を中心に説明 	14:15-14:25 (10分)
3. ディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> 計画全体に関するディスカッション 	14:25-15:20 (55分)
4. 計画策定までのスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定までのスケジュール 	15:20-15:25 (5分)
5. 普及啓発の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> これまでの普及啓発取組 次年度以降の普及啓発の取組方針 	15:25-15:50 (25分)
6. 次年度のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 次年度の協議会スケジュール・議題 	15:50-15:55 (5分)

第5回みよし市ゼロカーボンシティ推進協議会

1. パブリックコメントの結果報告 10分
2. ゼロカーボンシティ推進計画の策定内容
3. ディスカッション
4. 計画策定までのスケジュール
5. 普及啓発の取組方針
6. 次年度のスケジュール

市民からいただいたご意見及び市の考え方について説明します。

番号	ご意見の趣旨	市の考え方（対応）
1	ゼロカーボン化を推進することで、まちの魅力度向上を図る方針については、大変良いことで大賛成です。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 ゼロカーボン化を推進することで、まちの魅力度を向上させ、市民の皆さまにとって住みやすいまちを実現してまいります。
2	区域施策編の部門ごとの排出量割合の提示や割合ごとの排出量の特徴だけでは、市民も事業者も「そうなんだ」で終わってしまう。 どこで（誰が）、どれだけ排出しているかを見える化しなければ腰が上がりません。	本計画においては、特定事業所排出者の割合は掲載しておりますが、各事業所の排出量などは掲載しておりません。 排出源の具体的な業種を特定し、二酸化炭素排出量削減の推進に向けた脱炭素プラットフォームの活用などによって、本市としても主体的に取り組む働きかけてまいります。
3	事務事業編は2013年度比で2023年度に24％削減されているが、再エネ比率が高い電力を買うだけでは実質的な二酸化炭素削減につながっていないのではないか。 事務事業編の削減目標は2013年度比で51％削減に設定されているが、例えば70％削減などの刺激的な目標でなければ削減が進まないのではないか。	再生可能エネルギーを含む排出係数が小さい電力を活用することで、二酸化炭素排出量削減につながりましたが、今後は、公共施設の脱炭素化に向けた調査およびロードマップの策定を行い、さらなる脱炭素化に向けた具体的な数値目標を更新してまいります。
4	事務事業編において、公共施設や病院などの二酸化炭素排出量削減の取組方針を具体化している点は良いと思う。 横浜市の全小中学校では、屋上に太陽光発電を設置するとともに、教育の題材として提供しているため、みよし市も見習いたい。	公共施設には、可能な限り太陽光発電設備を設置する方針であり、設備の導入を進めてまいります。 本市においても環境教育に活用しており、今後もより一層環境教育の充実に努めてまいりたいと考えております。

市民からいただいたご意見及び市の考え方について説明します。

番号	ご意見の趣旨	市の考え方（対応）
5	<p>3本柱に新技術として水素を掲げていることは大変良いと思う。</p> <p>みよし市水素利活用ビジョンの策定にも大賛成である。</p> <p>ビジョンの図における、水素・アンモニアを活用した火力発電や海外からの水素輸入は、みよし市とは関係ないのではないか。</p> <p>また、港湾部からのパイプライン輸送は、本当に実施するのか。</p> <p>太陽光を中心とした市内での再エネ由来水素製造が、二酸化炭素削減のキーだと考える。</p> <p>その際には、屋根置き太陽光を中心とし、森林伐採につながるメガソーラーの設置は反対である。</p>	<p>水素利活用ビジョンにおいては、水素利活用の全体像を示した上で、本市の役割と活用方針を示しています。</p> <p>そのため、直接的には関係がない火力発電などでの活用も記載しています。</p> <p>市内で導入可能な太陽光発電規模と水素製造のコスト面から現時点では水素製造は検討しておりませんが、ペロブスカイト太陽電池などの技術革新の動向を注視しながら、再生可能エネルギー由来の水素製造についても検討してまいります。</p> <p>また、太陽光発電の導入においては、屋根置き太陽光発電のほか、森林伐採を伴わない、ため池を活用した水上太陽光発電について検討してまいります。</p>
6	<p>飲食店や水素スタンドの撤退など、三好ヶ丘を含む北部地区の発展の停滞に残念な思いを持っている。</p> <p>大企業の税収に頼るだけでなく、名古屋市や豊田市につながる鉄道の駅なども活かしながら市の発展につなげていただきたい。</p>	<p>総合計画や都市計画マスタープランにおいて、地域の発展を検討してまいります。</p> <p>ゼロカーボン推進室としても、脱炭素と関連させながら産業振興を図り、地域の持続可能な発展を目指してまいります。</p>

市民からいただいたご意見及び市の考え方について説明します。

番号	ご意見の趣旨	市の考え方（対応）
7	<p>行政、議会、企業が一緒になって自発的にチャレンジする姿を見せ、それが市民の目に見えることで、市民一人ひとりの行動を誘起する事業を起こせないか。</p> <p>例えば、「さんさんバス」を、グリーン水素を用いた燃料電池自動車に切り替え、燃料は市内の太陽光発電を用いた水電解によって製造する事業などを行ってはどうか。</p>	<p>ご提案いただきありがとうございます。</p> <p>実証事業の一案として参考にしてまいります。</p> <p>具体的な実現可能性を評価し、市民の皆さまに見える形での取組を進めてまいります。</p>
8	<p>愛知県がアイシンや関係事業者と進めようとしている「ペロブスカイト太陽電池（PSC）普及拡大プロジェクト」への参加を検討していただきたい。</p> <p>「県」や「事業者」との「仲間づくり」を行うことが大事だと考える。</p>	<p>先日、愛知県から県内自治体に対して、本プロジェクトの支援に向けた「あいちペロブスカイト太陽電池推進協議会」の設立及び構成メンバー募集の案内があり、本市においても応募を検討しているところです。</p> <p>現在も県が事務局を務める「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」に加盟するなど広域的な協力体制の構築を図っておりますが、今後も引き続き、脱炭素に関する外部動向に注視しながら、国、県及び事業者等との連携を強化し、ゼロカーボンシティ実現に向けた取組を推進してまいります。</p>

第5回みよし市ゼロカーボンシティ推進協議会

1. パブリックコメントの結果報告
2. ゼロカーボンシティ推進計画の策定内容 10分
3. ディスカッション
4. 計画策定までのスケジュール
5. 普及啓発の取組方針
6. 次年度のスケジュール

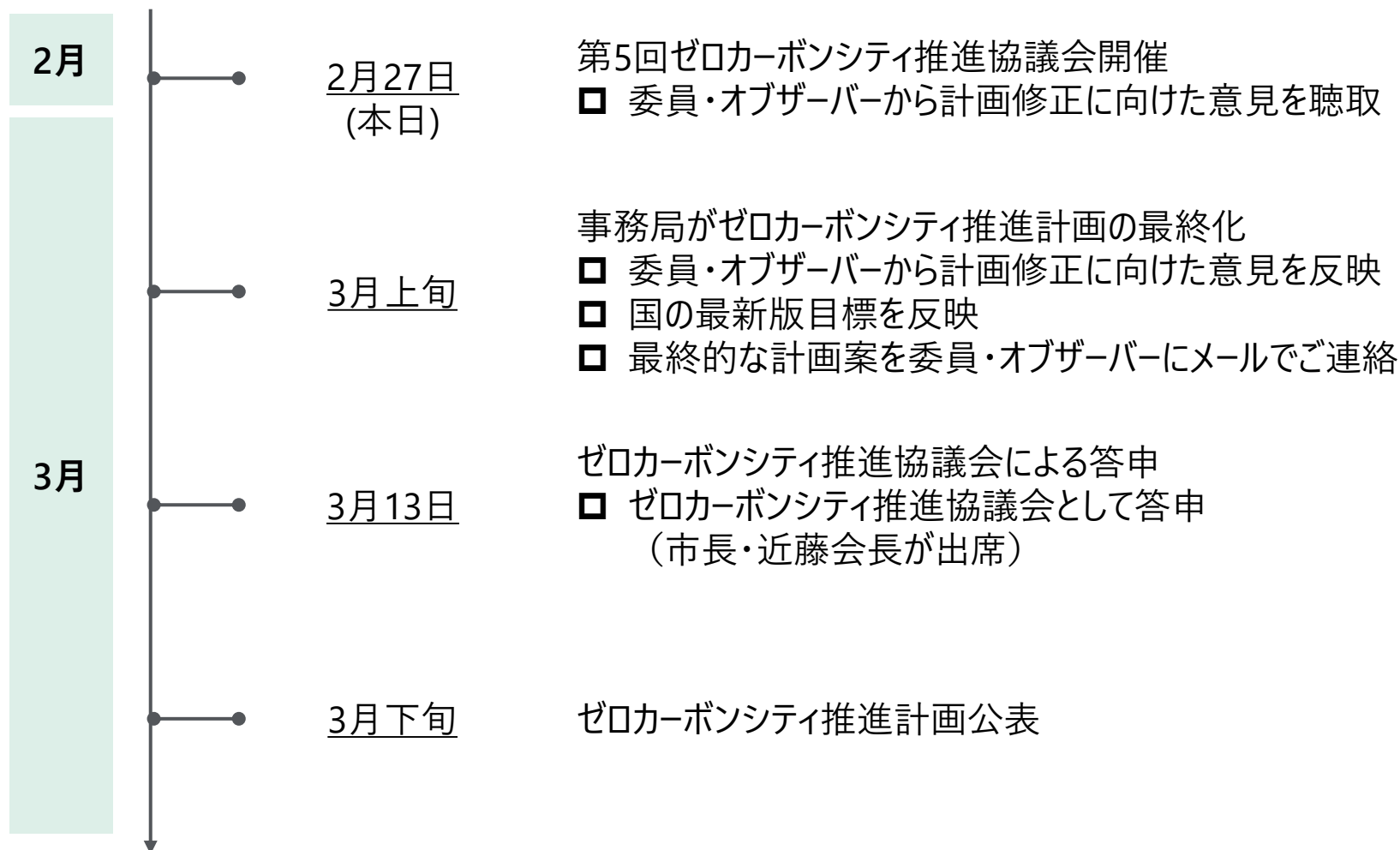
第5回みよし市ゼロカーボンシティ推進協議会

1. パブリックコメントの結果報告
2. ゼロカーボンシティ推進計画の策定内容
3. ディスカッション 55分
4. 計画策定までのスケジュール
5. 普及啓発の取組方針
6. 次年度のスケジュール

第5回みよし市ゼロカーボンシティ推進協議会

1. パブリックコメントの結果報告
2. ゼロカーボンシティ推進計画の策定内容
3. ディスカッション
4. 計画策定までのスケジュール 5分
5. 普及啓発の取組方針
6. 次年度のスケジュール

本日の協議会の意見を計画に反映させ、3月13日に市長に対して答申を行い、3月下旬に本計画を公表する予定です。



第5回みよし市ゼロカーボンシティ推進協議会

1. パブリックコメントの結果報告
2. ゼロカーボンシティ推進計画の策定内容
3. ディスカッション
4. 計画策定までのスケジュール
5. 普及啓発の取組方針 25分
6. 次年度のスケジュール

5 これまでの普及啓発取組 **本市は企業や大学と連携し、若年層を中心とした普及啓発のイベントに取り組んでいます。**

本市が実施した事業（R6年度）

実施日	取組名	対象	参加人数	実施内容	取組の様子
7/12	水素に関する環境学習講座	中学生 （南中学校の2年生）	125人	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地元のトヨタ自動車株式会社下山工場と連携し、中学生向けの地球温暖化防止に関する環境学習講座として開催 ✓ 燃料電池自動車の模型づくりや試走、燃料電池自動車バス（SORA）の試乗などを通じて、水素活用の仕組みや必要性を学習 	
7/23, 8/20	気候変動適応ワークショップ	本市職員	25人	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 環境省中部地方環境事務所と連携し、職員向けの気候変動適応に関するワークショップを開催 ✓ 講師による気候変動適応に関する基礎講座やグループワークを通して、本市において懸念されるリスクや適応策について考える力を習得 	
7/29	夏休み実験教室「電気をつくって・ためて・エネルギーの組合せについて学ぼう!」	小学生 （市内在住の小学校4年生から6年生）	22人	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 包括連携協定を締結している東邦ガス株式会社と連携し、若い世代にゼロカーボンの取組に関心を持っていただくことを目的に開催 ✓ 手回し発電、ソーラー発電、コンデンサーへの蓄電の実験を通して、多様なエネルギー源を組み合わせた、エネルギー地産地消の重要性を学習 	

【参考】みよし市HP 環境教育に関する取組

5 これまでの普及啓発取組

本市は企業や大学と連携し、若年層を中心とした普及啓発のイベントに取り組んでいます。

本市が実施した事業（R6年度）

実施日	取組名	対象	参加人数	実施内容	取組の様子
8/27	愛工大おもしろ体験ツアー	小学生 （市内在住の 小学校4年生か ら6年生）	18人	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 包括連携協定を締結している愛知工業大学と連携し、環境問題を身近に感じてもらう、カーボンニュートラルについて考えていただくことを目的に開催 ✓ 電気の仕組みを学習できる工作や、ロボット研究ミュージアムの見学を通して、再生可能エネルギーについて学習 	
9/8	親子で学べる環境にやさしいランタンづくり教室	小学生・保護者 （市内在住の 小学校4年生か ら6年生）	8人	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日常生活の中における身近な省エネルギー行動への取組に関心を持っていただくことを目的に親子参加の講座として開催 ✓ 親子でソーラーライトを製作し、太陽光発電による発電や蓄電の方法、LED照明の省エネのしくみについて学習 	
10/7	省エネ実践セミナー	市内事業者	12社 （21人）	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市内の中小企業・小規模事業所を中心とした経営者・省エネ担当者を対象に、脱炭素社会の構築に向けて企業・事業所が今取り組むべき省エネ実践のポイントを説明 	

【参考】みよし市HP 環境教育に関する取組

5 これまでの普及啓発取組 **本市は企業や大学と連携し、若年層を中心とした普及啓発のイベントに取り組んでいます。**


本市が実施した事業（R6年度）

実施日	取組名	対象	参加人数	実施内容	取組の様子
11/3	ワークショップ「環境にやさしい水素エネルギーで遊ぼう！」	小学生・保護者	15人	✓ 産業フェスタみよし2024の特設ブースにおいて、こどもたちに水素エネルギーをより身近に感じてもらい、 次世代のエネルギーを学習、体験できるワークショップ を実施	
1/14	学校事務職員研修会	本市学校事務職員	13人	✓ 本市が地球温暖化対策のために実施している取組に関する講座や、グループワークを通して、 学校事務職員として実施できること を考える研修を開催	
1/26	親子サイエンスカフェinみよし	小学生・中学生・保護者	8人	✓ 科学者と気軽に語り、考えることを通じて、楽しみながら科学や環境についての理解を深めることができるよう、環境教育の一環として開催 ✓ 名古屋市科学館学芸員（元南極観測隊員）による講座 やカードゲームを用いた省エネ学習を実施	

【参考】みよし市HP 環境教育に関する取組



本市は企業や大学と連携し、若年層を中心とした普及啓発のイベントに取り組んでいます。

本市が実施した事業（R6年度）

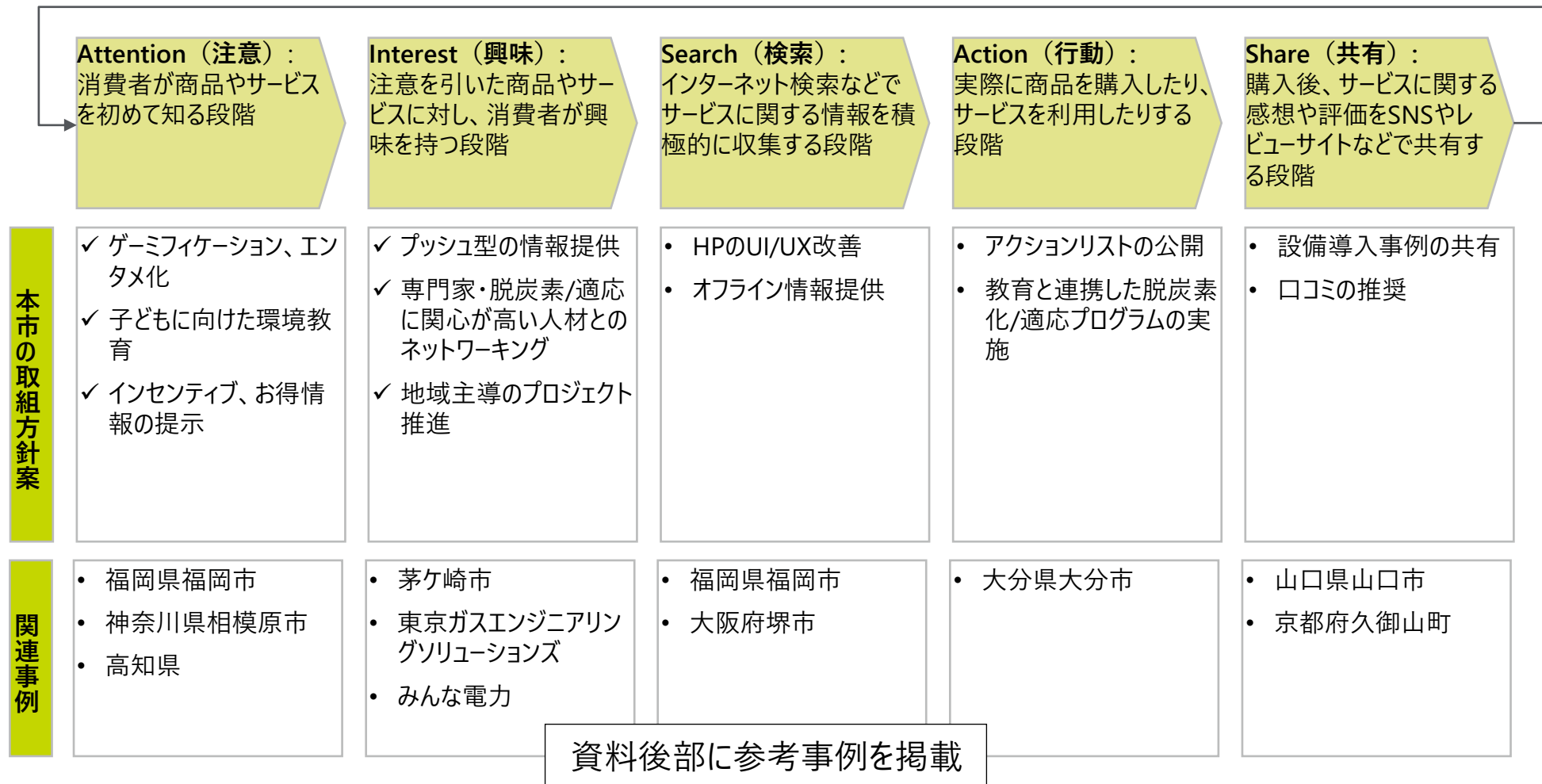
実施日	取組名	対象	参加人数	実施内容	取組の様子
11/19, 12/10, 1/16	「ハッピーにエコ る」環境教育講 座	中学生 （北中学校、 三好丘中学校、 三好中学校の1 年生）	480人	<ul style="list-style-type: none"> ✓ みよし市出身で、環境活動家として活躍されている講師による環境教育講座を開催 ✓ 実体験を交えた講演と、多数のクイズを通して、一人ひとりが身近な問題として捉えることができるよう、気候変動を始めとする環境問題について学習 	

5 これまでの普及啓発取組 **本市は企業や大学と連携し、若年層を中心とした普及啓発のイベントに取り組んでいます。**

本市が実施した事業（R6年度）

実施日	取組名	対象	参加人数	実施内容	取組の様子
7/6	2050カーボンニュートラル・カードゲームワークショップ （東海学園大学実施に協力）	大学生 （東海学園大学「脱炭素社会」講義受講生）	－	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 東海学園大学による講義「脱炭素社会」の一環で、カーボンニュートラル・カードゲームワークショップを開催 ✓ カードゲーム「2050カーボンニュートラル」は、私たちの活動が地球環境与える影響を俯瞰し、行動変容に働きかけるシミュレーションゲーム 	
6/5, 6/19, 10/7, 1/31	ストップ温暖化教室 （県主催）	小学生 （三吉小学校、三好丘小学校、南部小学校、中部小学校の4年生）	277人	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 愛知県の主催で小学校3～6年生を対象にした出前授業「ストップ温暖化教室」を実施 ✓ 小学校の総合的な学習の時間等を活用し、クイズや実験などを通して、地球温暖化について学習 	

他自治体の取組事例を参考にして普及啓発の方針を検討します。



年代・脱炭素への関心によって異なる普及啓発の方針が求められ、
30-50歳代への普及啓発が特に効果が大きいと考えられます。

		市民/企業人材として脱炭素の中核		
		～20歳代	30～50歳代	60歳代以上
脱炭素に 関心あり	脱炭素に 関心あり	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市民：学生や新入社員が中心であり、住宅や自動車等の購入は限定的 ✓ 企業：担当者レベルであり将来的に企業の中核を担う人材 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市民：子育て世代であり、住宅や自動車等の中心的購買層 ✓ 企業：意思決定を担う企業の中核人材（係長・課長・部長級） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市民：現役時代の住宅に居住するなど住宅や自動車等の購入は限定的 ✓ 企業：企業の経営からは引退
	脱炭素に 関心なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プッシュ型の情報提供 ✓ 専門家・脱炭素に関心が高い人材とのネットワーキング ✓ 脱炭素関連のスキルアップ・キャリア形成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プッシュ型の情報提供 ✓ 専門家・脱炭素に関心が高い人材とのネットワーキング ✓ 地域主導の脱炭素プロジェクト推進 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域貢献活動の高度化・多様化 ✓ 知識・経験の継承・発信
脱炭素に 関心なし	脱炭素に 関心なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ インセンティブ、お得情報の提示 ✓ ゲーミフィケーション、エンタメ化 ✓ 社会貢献による自己肯定感の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ゲーミフィケーション、エンタメ化 ✓ こども向けの環境教育（親子参加等） ✓ インセンティブ、お得情報の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ インセンティブ、お得情報の提示 ✓ ゲーミフィケーション、エンタメ化 ✓ 健康増進と組み合わせた情報提供

普及啓発の施策を実現するための知見や工数などを獲得するため、 内部/外部における体制構築の方法を検討します。

【普及啓発推進のための体制構築（案）】

	企画	構築（コンテンツ等）	運用
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企画業務の横ぐし管理 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 庁内関連部署を横断的に統括する組織を設立し、企画の一元化と連携強化 ■ 企業・専門家との連携 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 企業や大学教授、研究機関、NPO等の専門家と連携し、専門的な知見に基づいた企画立案 	<ul style="list-style-type: none"> ■ データベースの構築 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 脱炭素に関する啓発コンテンツを庁内で開発もしくは外部から収集し、職員・市民が活用できるよう整備 ■ 広報ガイドラインの策定: <ul style="list-style-type: none"> ➢ 広報資料やウェブサイト等のデザインガイドラインを策定し、統一感のある情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ■ PDCAサイクルの導入 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 啓発活動の効果測定と改善を行うためのPDCAサイクルを導入してアンケート調査やアクセスログ分析等を通じて効果を可視化し、継続的に改善 ■ デジタルツールの拡充 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 庁内/市民向けのAIチャットボットなどを導入し、問い合わせ工数を削減しつつ、データを蓄積してニーズや課題を把握 ■ 企業・市民団体等との広報連携 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域で活動する企業・ボランティア団体等と連携し、啓発イベントの運営や情報発信で協力

第5回みよし市ゼロカーボンシティ推進協議会

1. パブリックコメントの結果報告
2. ゼロカーボンシティ推進計画の策定内容
3. ディスカッション
4. 計画策定までのスケジュール
5. 普及啓発の取組方針
6. 次年度のスケジュール 5分

次年度協議会では、実施予定の取組説明、計画の進捗報告、今後行う施策案のディスカッション等を行う予定です。

開催時期
(予定)

議題案

第1回

9月頃

- R6年度の実績及び計画の進捗報告
- R7年度に実施する取組の説明（施策①～⑦に関連するもの）

第2回

2月頃

- R7年度の振り返り
- R8年度の施策実施内容

【事務連絡】

R7.3下旬頃に、現委員の異動などに関する照会をさせていただく予定ですのでご承知ください。

他の自治体の普及啓発取組に関する事例紹介

（５．普及啓発の取組方針関連）

福岡市ではエンタメ×脱炭素、相模原市では教育×脱炭素を目的としたイベントが行われています。

Attention

Interest

Search

Action

Share

脱炭素に関心なし

ゲーミフィケーション、
エンタメ化

実施主体

■ 福岡県福岡市 環境局

ターゲット

■ Z世代

連携先

■ Earth hacks（環境に配慮した商品・サービスの提供）

取組概要/
イメージ

- 福岡市の重点取組領域である「脱炭素」、「生物多様性」、「資源循環」をテーマに、参加者が気軽に体験できる謎解きイベントを期間限定で開催
- 環境意識の高い方はもちろん、脱炭素をはじめ環境保全行動等にあまり馴染みのない方であっても関心が持てるよう、楽しめるコンテンツを提供



脱炭素に関心なし

子どもに向けた
環境教育

実施主体

■ 神奈川県相模原市

ターゲット

■ 市内在住の小学3年生～中学生3年生とその保護者

連携先

- 北相トラベル（旅行会社）
- 日本フードエコロジーセンター（リサイクル工場）など

取組概要/
イメージ

- 親子向けにSDGsバスツアーを開催
- 食品廃棄物を飼料化する食品リサイクル工場や太陽光発電施設などを見学



Attention

Interest

Search

Action

Share

脱炭素に関心なし

インセンティブ、
お得情報の提示

実施主体

■ 高知県 林業振興・環境部 環境計画推進課

ターゲット

■ 市民全般

連携先

■ 協賛店舗・団体（小売・飲食など）

取組概要/
イメージ

- 県内のイベント会場の二次元コードやクイズへの挑戦によってスタンプを取得
- スタンプを集めて応募するとPayPay等のポイントを抽選で獲得



脱炭素に関心あり

地域主導の脱炭素
プロジェクト推進

実施主体

■ みんな電力

ターゲット

■ 市民全般

連携先

■ 再エネ発電事業者

取組概要/
イメージ

- マンションに住み、再エネ導入が難しい市民などが遠隔で応援したい再エネ発電所に出資
- 購入した発電所の電力を自宅で使用し、余剰は売電
- 発電所の見学や体験などのリアルイベントを開催



Attention

Interest

Search

Action

Share

脱炭素に関心あり

プッシュ型の
情報提供

実施主体

■ 神奈川県茅ヶ崎市

ターゲット

■ 市民全般

連携先

■ -

取組概要/
イメージ

- LINEのセグメント配信サービスを開始し、「**環境・自然**」の分野では、**環境や自然に関するイベント・講座やくらしを豊かにする脱炭素なライフスタイルに関する通知**について受信設定可能



脱炭素に関心あり

ネットワーキング

実施主体

■ 日産自動車、J-オイルミルズ

ターゲット

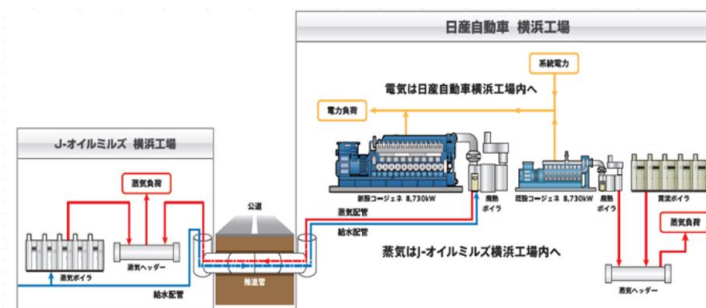
■ -

連携先

■ 東京ガスエンジニアリングソリューションズ

取組概要/
イメージ

- 日産自動車横浜工場内のエネルギー効率化のために導入したガスエンジンコージェネレーションシステムで電力を同工場へ供給する一方、**廃熱を回収してつくった蒸気をJ-オイルミルズ横浜工場へ供給することにより、ガスコージェネレーションシステムの効率の最大化**



福岡市ではHP上から脱炭素関連の情報を容易に習得できるよう、操作性や視認性の工夫がされています。

Attention Interest Search Action Share

SEO対策/
ユーザビリティ改善

- 脱炭素に関する情報を網羅したウェブサイトを作成し、検索エンジン最適化（SEO）を行う
- 検索や情報ページなどの視認性や操作性を向上させる

【関連事例】

- 福岡県福岡市HPでは、トップページの、「くらし・手続き」の「環境・ごみ・リサイクル」タブから脱炭素関連の補助金や計画などにアクセス可能



FAQ・ガイドライン
整備

- 脱炭素に関するFAQやガイドライン、ツールキットを提供する

【関連事例】

- 福岡県福岡市HPでは、トップページの、「くらし・手続き」の「環境・ごみ・リサイクル」タブからカーボンニュートラルパッケージにアクセス可能
- 市民・事業者に向けた補助メニュー・補助額などを表形式で一覧化し、補助事業へのリンクも掲載

1、市民向けメニュー

こんな方におすすめ！	メニュー	主な補助対象、補助額等	補助枠
① できることから脱炭素に取り組みたい	ECOチャレンジ応援事業	市民の脱炭素行動に対して 交通系ICカードへ 最大5,000円相当のポイントを付与	福岡市4,000世帯 ☆都市圏5都市 3,000世帯
② 太陽光パネルを設置したい	住宅用エネルギーシステム 導入支援事業	太陽光パネル 集合住宅60万円、戸建10万円 蓄電池 40万円 家庭用燃料電池 5万円 高効率給湯器(エコキュート) 2万円 等	2億6,950万円
③ 電気自動車(EV)等買い替えたい	電気自動車・燃料電池 自動車等の購入補助	EV 10万円(再エネ電気での充電+5万円) PHEV 5万円 FCV(燃料電池自動車) 60万円	6,400万円
④ マンションにEV充電器を設置したい	充電設備設置補助	普通充電 最大100万円/施設	2,500万円

堺市では環境に関する情報の取得・検索をしやすいするため、オフラインでの情報提供が行われています。

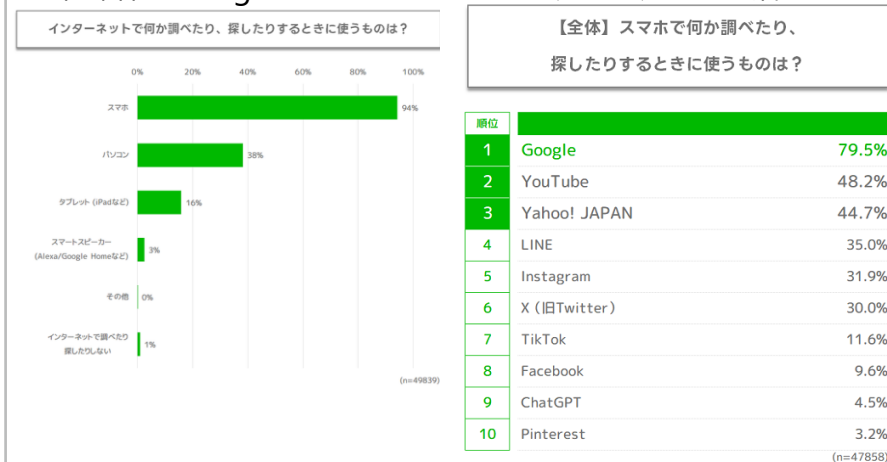
Attention Interest Search Action Share

情報提供媒体の 拡充

- 脱炭素に関する教育的な動画やチュートリアルを制作し、YouTubeチャンネルで公開する
- InstagramやTwitterなどのSNSで、脱炭素に関する情報や成功事例を定期的に投稿する

【関連調査結果】

- 2023年9月のLINEリサーチの約5万人を対象とした調査結果として、インターネットで調べ物をする場合にはスマホが優先的に活用され、検索媒体はGoogleだけではなくYouTube、LINE、Xなども活用



オフライン 情報提供

- 図書館やコミュニティセンターに脱炭素に関する情報コーナーを設置し、パンフレットやリーフレットを提供する

【関連事例】

- 大阪府堺市中央図書館では、令和4年6月（環境月間）にブックフェアを開催し、環境問題に関する書籍を集約・特集

◆ 気候変動緩和のために

「SDGs 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や「SDGs 13 気候変動に具体的な対策を」に関連しています。

書名	著者名	出版社	出版年
マンガでわかる脱炭素(カーボンニュートラル)	藤野 純一／監修	池田書店	2021.10
「再エネ大国日本」への挑戦	山口 豊／著	山と溪谷社	2020.3
気候変動から世界をまもる30の方法	国際環境NGO FoE Japan／編	合同出版	2021.1
図解でわかる14歳から知る気候変動	インフォビジュアル研究所／著	太田出版	2020.8
最近、地球が暑くてクマってます。	水野 敬也／著	文響社	2021.9
極端豪雨はなぜ毎年のように発生するのか	川瀬 宏明／著	化学同人	2021.8
南極の氷に何が起きているか	杉山 慎／著	中央公論新社	2021.11

大分市では教育と絡めた脱炭素化プログラムの提供と効果の開示が
行われています。

Attention

Interest

Search

Action

Share

教育プログラム

- 市内の小中学校で脱炭素教育プログラムを実施し、地球温暖化の原因や影響、脱炭素行動の重要性の学習・実践の機会を提供

【関連事例】

- 大分県大分市は環境教育の一環として「やってみよう！エコチャレンジ！」を実施（小学1～4年生：1日間、小学5年生～中学生：7日間）
- 節電などのエコチャレンジの参加率・参加者数を測定し、CO2削減量をチェックシートによる定量化してHP上で開示

やってみよう！エコチャレンジ！ 高学年(小学5-6年生)、中学生用

12月2日(月)からエコチャレンジに取り組みよう！

★電子で参加！★ 参加方法 ★紙で参加！

チャレンジ項目	1日で減らせる 二酸化炭素の量	1週間で減らせる 二酸化炭素の量	12月 2日 (月)	3日 (火)	4日 (水)	5日 (木)	6日 (金)	7日 (土)	8日 (日)	減らせた二酸化炭素量 (1日あたり)(X)実行できた日数(=○の数)1g
1 使用しない家電製品をコンセントから抜く。	131g この数 前 16.8倍分	二酸化炭素量 917g この数 前 16.8倍分								131g×()日=()g 例:131g×7日=917g
2 使っていない部屋の照明はこまめに消す。	3g この数 前 0.4倍分	二酸化炭素量 21g この数 前 0.4倍分								3g×()日=()g 例:3g×7日=21g
3 テレビを見ていないときは消す。	33g この数 前 4.2倍分	二酸化炭素量 231g この数 前 4.2倍分								33g×()日=()g 例:33g×7日=231g
4 室温機器(エアコンなど)の設定温度を下げる。	61g この数 前 7.8倍分	二酸化炭素量 427g この数 前 7.8倍分								61g×()日=()g 例:61g×7日=427g
5 冷蔵庫の開け閉めを少なくし、開けっ放しにしない。	19g この数 前 2.4倍分	二酸化炭素量 133g この数 前 2.4倍分								19g×()日=()g 例:19g×7日=133g
6 ごみは分別して捨てる。	50g この数 前 6.4倍分	二酸化炭素量 350g この数 前 6.4倍分								50g×()日=()g 例:50g×7日=350g
7 ご飯を残さず食べる。	12g この数 前 1.5倍分	二酸化炭素量 84g この数 前 1.5倍分								12g×()日=()g 例:12g×7日=84g
8 ゲームをする時間を短くする。	6g この数 前 0.8倍分	二酸化炭素量 42g この数 前 0.8倍分								6g×()日=()g 例:6g×7日=42g
			合 計 9 二酸化炭素量 減らせた分							

※1週間の間で減らせる二酸化炭素の量(8倍率)を30とし前日と比べています。二酸化炭素1gを0.55Lと計算しています。(20℃、1気圧の場合)

※1日目で減らせる二酸化炭素量は、主に環境省および経済産業省資源エネルギー庁のデータを参考に算出しています。

1週間で1～8すべての項目に○がついたら、
ごみ袋 約40.4袋分の二酸化炭素
(二酸化炭素2,205g)を減らせたことになるよ！

保護者の皆さんへ
子どもたちが、環境問題について考え、地球温暖化を防止するための身近な行動を育み、実践するために、エコチャレンジの参加を希望しています。保護者の協力をお願いします。ぜひご協力をお願いします。また、環境省のホームページで地球温暖化の現状が公開されていますので、ご覧ください。

大分市環境対策課 脱炭素社会推進室
TEL:0975-353-3131 FAX:0975-353-3131
E-MAIL:okanaka@city.ofuna.lg.jp
WEB:okanaka.city.ofuna.lg.jp

地球温暖化の現状
https://earth.okanaka.city.ofuna.lg.jp/earth/

山口市では省エネ設備等利用者の声を紹介しており、久御山町では脱炭素のシェアを含めたコアメンバーを育成しています。

Attention

Interest

Search

Action

Share

利用者の声

- 市民の事例を他の市民に伝えることで、脱炭素化の取組みを拡大

【関連事例】

- 山口県山口市では、山口市地域脱炭素ポータルというウェブサイトを作成しており、市の補助制度を活用して省エネ設備等を導入した利用者の声を紹介

山口市中心市街地省CO₂設備導入補助制度 補助金利用者の声

高性能エアコンの導入が、CO₂を削減し、
フードロスにもつながった。



#小売・サービス業

悦味屋

藤田悦子さん

口コミ推奨

- 市民が自らの体験や成功事例を他の市民に伝えることで、脱炭素化の取組みを拡大

【関連事例】

- 京都府久御山町では、令和5年度に環境政策プロモーション事業の公募を行っており、取組の一つとして環境保全に寄与する行動に関する情報共有を行うコアメンバーの育成を推進

